



「チーム勝田」で本気のチャレンジ

令和7年度県立特別支援学校チャレンジ2025

茨城県立勝田特別支援学校

【学校組織】

小学部

中学部

高等部

訪問教育

- ・在宅
- ・茨城東病院

【訪問教育（茨城東病院）】



茨城東病院（東海村）内
医療型障害児入所施設



【訪問教育（茨城東病院）】

小中高28名 担当教員11名
集団 又は ベッドサイド

1校時 10:15～11:30

2校時 12:45～14:00

3校時 14:10～15:25



12月1日現在

訪問教育の重度重複児に対する 算数・数学科授業の推進

— 重度重複児への教科指導のチャレンジ —

【事業名称】

訪問教育

「①見る、②ふれる、③操作する」

算数・数学授業 1 ワン・2 ツー・3 スリー

【事業目的】

- ①訪問教育(茨城東病院) **重度重複児**
算数・数学 指導方法・教材の評価・検証
- ②校内での訪問教育の理解向上
重度重複児指導の専門性の向上
- ③他校の訪問教育との情報交換

【事業目標・内容】

①訪問教育(茨城東病院) 実態の異なる6名

算数・数学



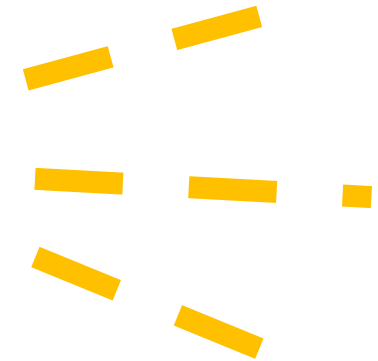
①見る



②ふれる



③操作する



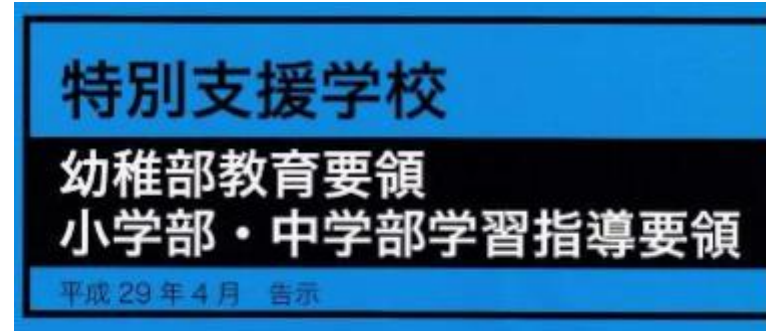
指導方法・教材による児童生徒の変容 評価・検証

【事業目標・内容】



①見る
②ふれる
③操作する

算数・数学
児童生徒の変容
評価・検証

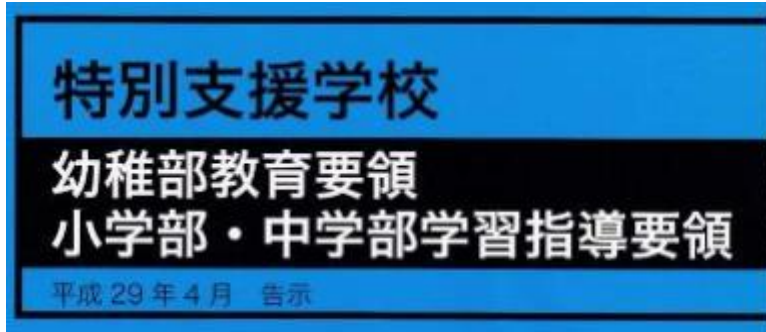


小学部知的
算数 1段階

〔数学的活動〕

ア 身の回りの事象を観察
具体物を操作

【設定理由 なぜ「教科指導」なのか】



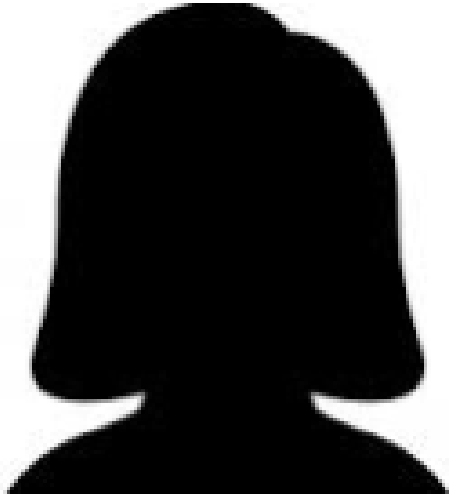
重度障害者
自立活動を主とした指導 ▶ **可能**



重複障害・重度障害という理由だけで、
各教科等の目標や内容を取り扱うこと
を全く検討しないまま、安易に自立活
動を主とした指導 ▶ **留意**



【設定理由 なぜ「教科指導」なのか】



本校 訪問教育
担当教員

教科で行うことで、
授業のねらいが
明確になるのでは

【設定理由 なぜ「教科指導」なのか】



学習指導要領解説



本校 訪問教育担当教員



重度重複児 教科指導 必要性

【設定理由 なぜ「算数・数学」なのか】

R5

自立活動



R6

自立活動

国語

算数・数学

音楽

図画工作・美術



本校 訪問教育
担当教員

算数・数学の
授業づくり
むずかしい

実践例
あまりない

【評価方法】

4観点

- ①できる
- ②支援を受けてできる
- ③芽生えが見られる
- ④芽生えが見られない



【評価のポイント】

見る	ふれる	操作する
○物に気付く →興味・関心	○認識を深める →かかわり・操作	○数量や形の概念 を体験的に学ぶ →表現・反応
○物や活動に注意を向けたり、興味を示したりすることができたか。	○教材や物に自発的に触れたり、操作したりすることができたか。	○活動を通して、なんらかの反応や表現(視線、動作、声など)が見られたか。

【期待できる児童生徒の資質・能力】

 ①見る



②ふれる



③操作する

重度重複児の日常生活の中での

「図形」や「数量」への興味関心へ

【県立勝田特別支援学校の訪問教育（茨城東病院）】



- 児童生徒 28名
【小13名、中8名、高7名】
- 教職員 11名
- 1週間の授業時間 6時間

12月1日現在

【時間割】



月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
自立活動6分	自立活動6分	自立活動6分	自立活動6分	自立活動6分
国語15分	国語15分	特別活動48分	算数・数学15分	算数・数学15分
自立活動48分	音楽 48分	自立活動6分	図工・美術48分	生活単元学習48分
自立活動6分	自立活動6分		自立活動6分	自立活動6分
75分	75分	60分	75分	75分

【1日の流れ】



月・火・木・金曜日

健康観察

9:30～

打ち合わせ

9:50～10:15

授業①(75分)

10:15～11:30

授業②(75分)

12:45～14:00

授業③(75分)

14:10～15:25

水曜日

健康観察

9:30～

打ち合わせ

9:50～10:00

授業①(60分)

10:00～11:00

授業②(60分)

11:10～12:10

【事業の実践①】

①訪問教育(茨城東病院)重度重複児
算数・数学
指導方法・教材の評価・検証

【算数・数学の取り組みについて】



①見る



②ふれる



③操作する

【取り組み①】

・実態に応じたグループ分け→3つのグループに分けた



見る
グループ



見る～ふれる
グループ



ふれる～操作する
グループ

【取り組み②】実践

学習指導要領 小学部1段階

A数量の基礎	B図形
<p>ア(ア)㊦</p> <p>具体物に気付いて指を差したり、つかもうとしたり、目で追ったりすること。</p>	<p>ア(ア)㊦</p> <p>具体物に注目して指を差したり、つかもうとしたり、目で追ったりすること。</p>
<p>(イ)㊦</p> <p>対象物に注意を向け、対象物の存在に注目し、諸感覚を協応させながら捉えること</p>	<p>(イ)㊦</p> <p>対象物に注意を向け、対象物の存在に気付き、諸感覚を協応させながら具体物を捉えること。</p>

【取り組み②】実践

・各グループの実践



見る
グループ

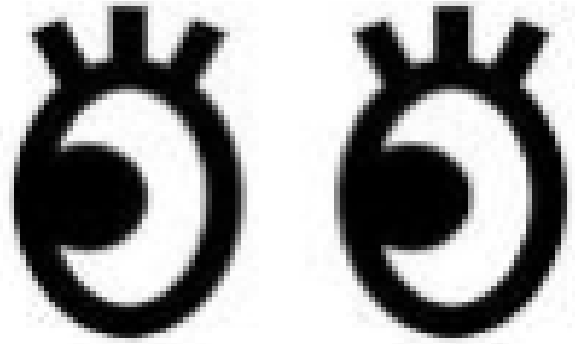


見る～ふれる
グループ



ふれる～操作する
グループ

【各グループの実践】



①見るグループ

【実態】対象児A

【見る】👁️👁️



- ・覚醒水準が不安定。
→音楽や人の声が聞こえると起きてくることもある。
- 注視→対象物を(一定の時間)瞬きをして見る。
- ▲追視→スムーズな目の動きは難しい。
人が移動すると、少し遅れて
視線を右から左へ移動させることがある。

【実践①】対象児A

【見る】👁️👁️ 対象物に気付く



【使用教材】	リラックスきらきらボトル
【指導内容・支援】	見やすい位置に提示し、背景に黒ボードを使用する。ボトルをひっくり返す。
【評価】	②支援を受けてできる

【見る】👁️👁️ 対象物を追視する

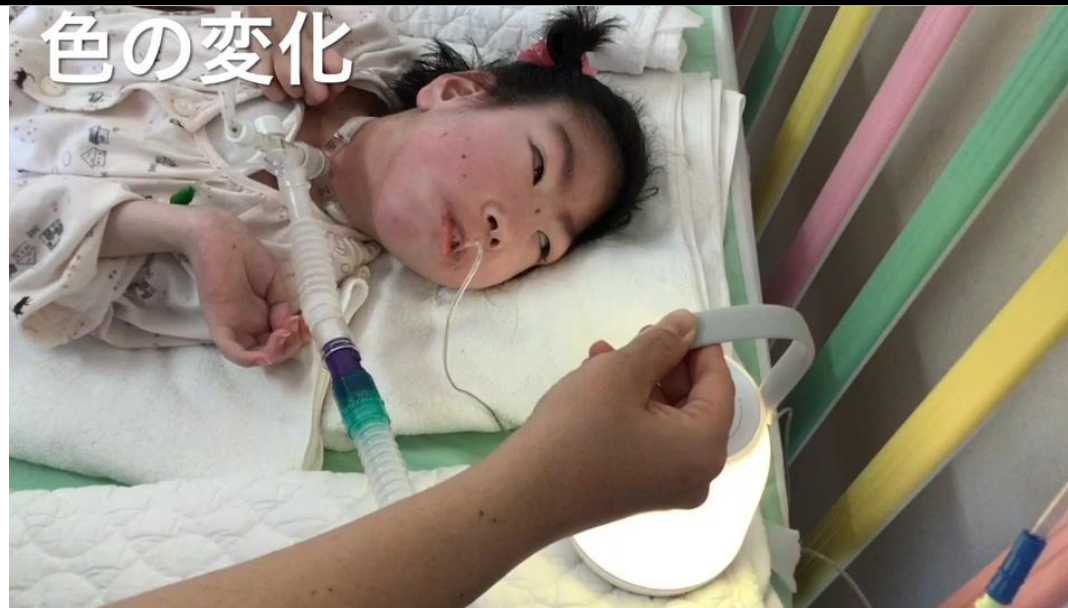


【使用教材】	ネズミのぬいぐるみ
【指導内容・支援】	見やすい位置に提示し、提示場所を変えて、子どもの反応待つ。
【評価】	③芽生えが見られる

【実践②】対象児A

【見る】👁️👁️

光の色の変化や光の強弱に気付く
追視する



【使用教材】	LEDランタン
【指導内容・支援】	見やすい位置に提示する。 1色で弱い光→強い光を順に見る。 7色の色が変わっていくライトの光を見る。
【評価】	②支援を受けてできる
【変容】	しっかり目を開けて見ようとするが増えた。 ↓ 白い光や強い光のときには、眩しそうな瞬きが見られた。

【使用教材】	日傘、カレードスコープ・ランプ
【指導内容・支援】	始めは、子どもの見ている右方向へ提示し慣れてきたら反対方向へゆっくりと日傘とランプの位置を移動させて追視を促す。
【評価】	③芽生えが見られる
【変容】	光のみの追視は難しい。 ↓ ゆっくり動く光が、反射している。日傘を動かすと、視線を反対側に動かすことができた。

【実践②】対象児B

【見る】👁️👁️

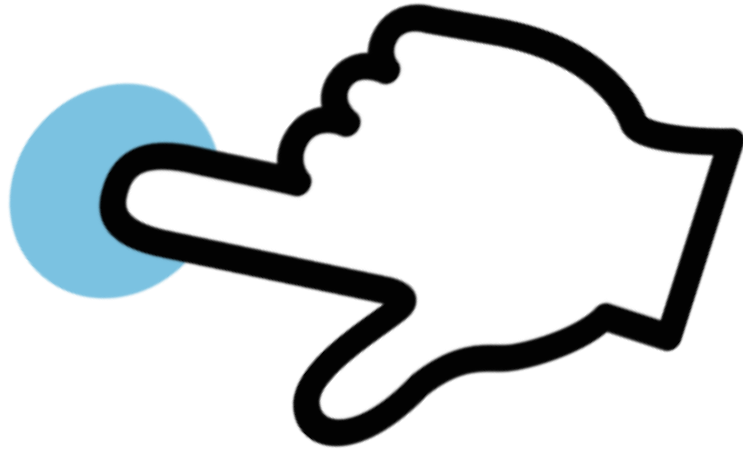
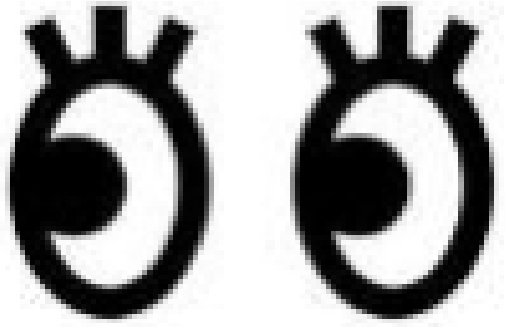
光の色の変化や光の強弱に気付く
追視する



【使用教材】	LEDランタン
【指導内容・支援】	見やすい位置に提示する。 1色で弱い光→強い光を順に見る。 7色の色が変わっていくライトの光を見る。
【評価】	②支援を受けてできる
【変容】	強い光→気付いて大きく目を開けた。 一定の色のおきに、目を大きく開けた。(光の色の変化)

【使用教材】	アクア・ボール(スピーカー付き)
【指導内容・支援】	見やすい位置に設置する。 アクアボールがゆっくり上下移動する。様子を音楽を聴きながら見る。
【評価】	③芽生えが見られる
【変容】	わずかだが、視線が上下する様子が見られた。

【各グループの実践】



②見る～ふれる

グループ

【実態】対象児C

【見る】👁️👁️



- ・左目は見えていない。
- ・右目については、1メートルほど離れた高さに提示した教材に気付き、注視することができる。

【ふれる】👉



- ・手の過敏はない。
- ・自分から手を伸ばして触れようとする姿はあまり見られないが、言葉をかけたり教師と一緒に手指を動かしたりすることで、物に触れることはできる。

【実践①】対象児C

【見る】👁️



【使用教材】

出席確認BOX

【指導内容・支援】

自分と友達を一人ずつ確認する。

【評価】

①できる

【ふれる】👉



【使用教材】

出席確認BOX

【指導内容・支援】

自分と友達の顔のついた立方体をBOXの中に入れていく。

【評価】

②支援を受けてできる
※立方体にふれて、手指を動かすことができた。

【実践①】対象児C

【見る】👁️



【使用教材】

出席確認BOX

【指導内容・支援】

自分と友達を一人ずつ確認する。

【評価】

①できる
※自分の顔を見つけて笑顔が出た。

【ふれる】👉



【使用教材】

出席確認BOX

【指導内容・支援】

友達の顔のついた立方体をBOXの中に入れていく。

【評価】

②支援を受けてできる
※BOXの中に、立方体を入れようとしてきた。

【実践②】対象児C

【見る・ふれる】 👁 👁 👉



【使用教材】

立体図形(四角・丸)

【指導内容・支援】

具体物に直接ふれ、形の違いがあることを体験的に気付くことができる。

【評価】

③芽生えが見られる

【変容】

教師と一緒に具体物を見たり、ふれたりする。



見る・ふれる経験を積み重ねる活動の中で、具体物(丸と四角)の違いに気付いてる表情の変化が見られた。

【実践②】対象児D

【見る・ふれる】👁️👁️👉



【使用教材】

立体図形(四角・丸)

【指導内容・支援】

具体物に直接触れ、形の違いに気付けるようにする。

【評価】

③芽生えが見られる

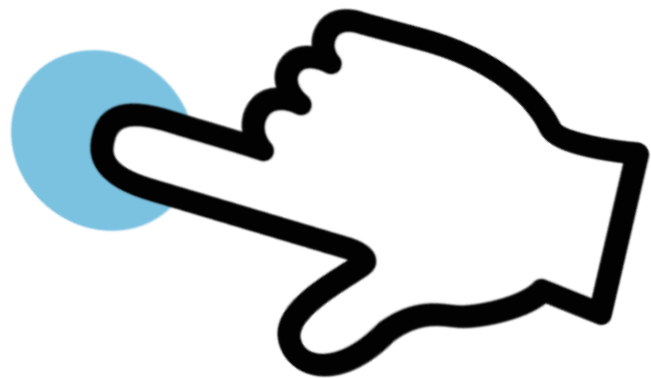
【変容】

具体物を提示すると視線を向け、丸や四角の積み木を見る



ふれることで、具体物(丸と四角)の違いに気付いている様子がうかがえる。

【各グループの実践】



③ふれる～操作する
グループ

【実態】対象児E

【見る】 👁️




- 提示物に気付いて**注視、追視**。
- 指さされた方向**を見る。
- ▲距離が**離れる**(1m程度)と、**目で追わなくなる**ことが多い。

【ふれる】 ➡



- 興味のあるものに、**自ら手を伸ばし触れる**。
- ▲**投げたり、たたいたりすることが多く、じっくり触れることが難しい**。

【実態】対象児E

【操作する】



○ 提示物を視覚等で捉えて、自ら手を動かす。

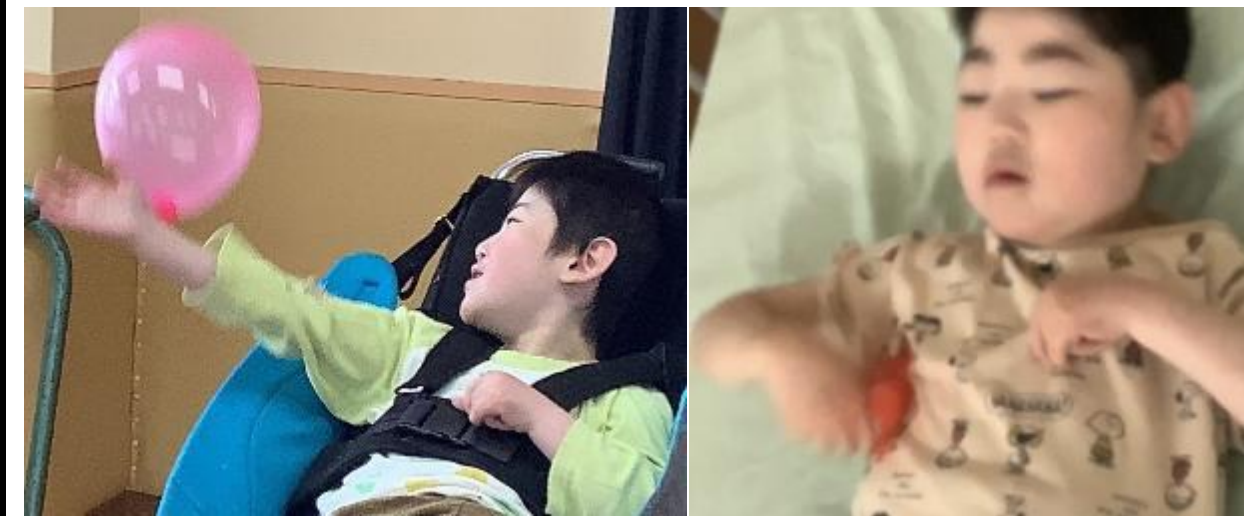
○ 握る、たたく、投げる

△ 押す(指先)、つまむ

⊖ 放す(投げてしまう)

【実践①】対象児E

【見る】👁️



【使用教材】

風船、ボール、花紙

【指導内容・支援】

飛ばしたり、ゴムで吊るして動かしたりして目で追う。

【評価】

①できる

【ふれる】👉



【使用教材】

さわる絵本、様々な素材

【指導内容・支援】

大きさや形、感触等の異なるいろいろな素材に触れる。

【評価】

②支援を受けてできる

【実践①】対象児E

【操作する】👁️👁️👉



【使用教材】	ブラックボックス	
【指導内容・支援】	対象物を取る(箱の周り)。見えない対象物を探して取り出す(箱の中)。	取ったものを箱の中に入れる。取ったものを箱の側面に付ける。
【評価】	①できる	②支援を受けてできる

【操作する】👁️👁️👉



【使用教材】	音の鳴る玩具
【指導内容・支援】	ボタンを手のひらまたは指先で押す。
【評価】	①できる

【実践②】対象児E

【見る】👁👁



【使用教材】

2つの箱、ボール

【指導内容・支援】

中が見えない2つの箱の一方に、好きなもの(ボール)を目の前に入れて蓋をし、差し出す。箱の蓋を開けて中を見たり、ものを取り出したりするよう促す。

【評価】

②支援を受けてできる

【変容】

ものの注視、追視。



ものを追視し、どちらに隠れたかを記憶。隠された方の箱に視線を向ける。

【実践②】対象児E

【ふれる】👉



【使用教材】

感触の絵本

【指導内容・支援】

様々な感触の素材がついている絵本のイラストを見たり、一人でページをめくって素材に触れたりする。

【評価】

①できる

【変容】

教師と一緒に素材に触れる。



ページをめくって感触に気付き、自分から触れる。

【実践②】対象児E

【操作する】👁️👁️👉



【使用教材】

ボール、かご

大きなサイコロ

【指導内容・支援】

握ったボールを目の前に提示したかごに入れる。

自分で考えて、サイコロを転がす。

【評価】

②支援を受けてできる

①できる

【変容】

視覚的に捉えたものに手を伸ばし、取る、たたく、投げる。



対象物を捉えて、自分で扱い方を考えながら、手を動かす。

【実践②】対象児F

【操作する】👁️👁️👉

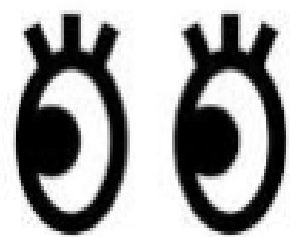


【使用教材】	カップ、ブロック	ジオマッチングブロック(丸、四角)
【指導内容・支援】	ブロックを同じ色のカップに入れる。	ブロックを同じ形の型に入れる。
【評価】	②支援を受けてできる	②支援を受けてできる
【変容】	教師と一緒に1色ずつ確認しながら入れる。 ↓ 2色のカップに対し、1色ずつブロックを渡すと正しく分類できるようになってきた。	教師と一緒に形を確かめながら入れる。 ↓ 自分で形を選び、教師の支援を受けて型に入れることができる。

【事業の実践① 成果と課題】

□ 重度重複児に対する算数・数学科
の授業展開

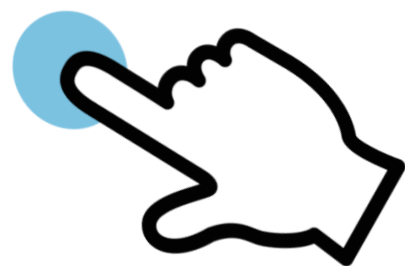
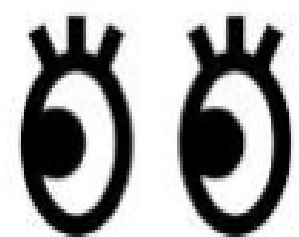
□ 取り組みの効果



【事業の実践① 成果と課題】

□ 今後の展望

□ 持続的な取り組みと改善



【使用教材の紹介】 教材

リラックスきらきらボトル



アーテック ミラーボールスタック



【使用教材の紹介】 見る教材

3Dスターランプ／カレードスコープ・ランプと日傘



【使用教材の紹介】 教材

アクア・ボール



カラフル・シング・ボール

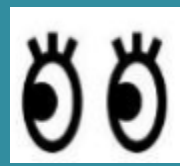


【使用教材の紹介】 教材

卓上鏡



【使用教材の紹介】



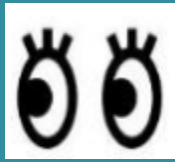
教材

虹色玉おとし

どんぐりきのこ



【使用教材の紹介】



教材

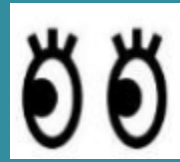
ライト・ムーブ



音が鳴る積み木



【使用教材の紹介】



教材

ジオマッチングブロック

光とボイス！タッチではじめて知育



【使用教材の紹介】



教材

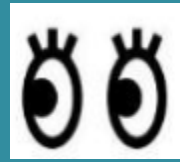
さやえんどう



カラフルぶどう



【使用教材の紹介】



教材

ソフトジャンボ
ブロックサイコロ



森のうんどう会



【使用教材の紹介】その他の教材

軽量 おりたたみ シールド

素材



- ◇カラー段ボール
（白、黒、赤）
- ◇ブラックボード
- ◇ニューフェルト（黒）
- ◇ネオソロハン8色
- ◇ブックカバー

【事業の実践②】

②校内での訪問教育の理解向上 重度重複児指導の専門性の向上

～アンケートと校内伝達会～

【アンケート①】



児童生徒数

授業時間

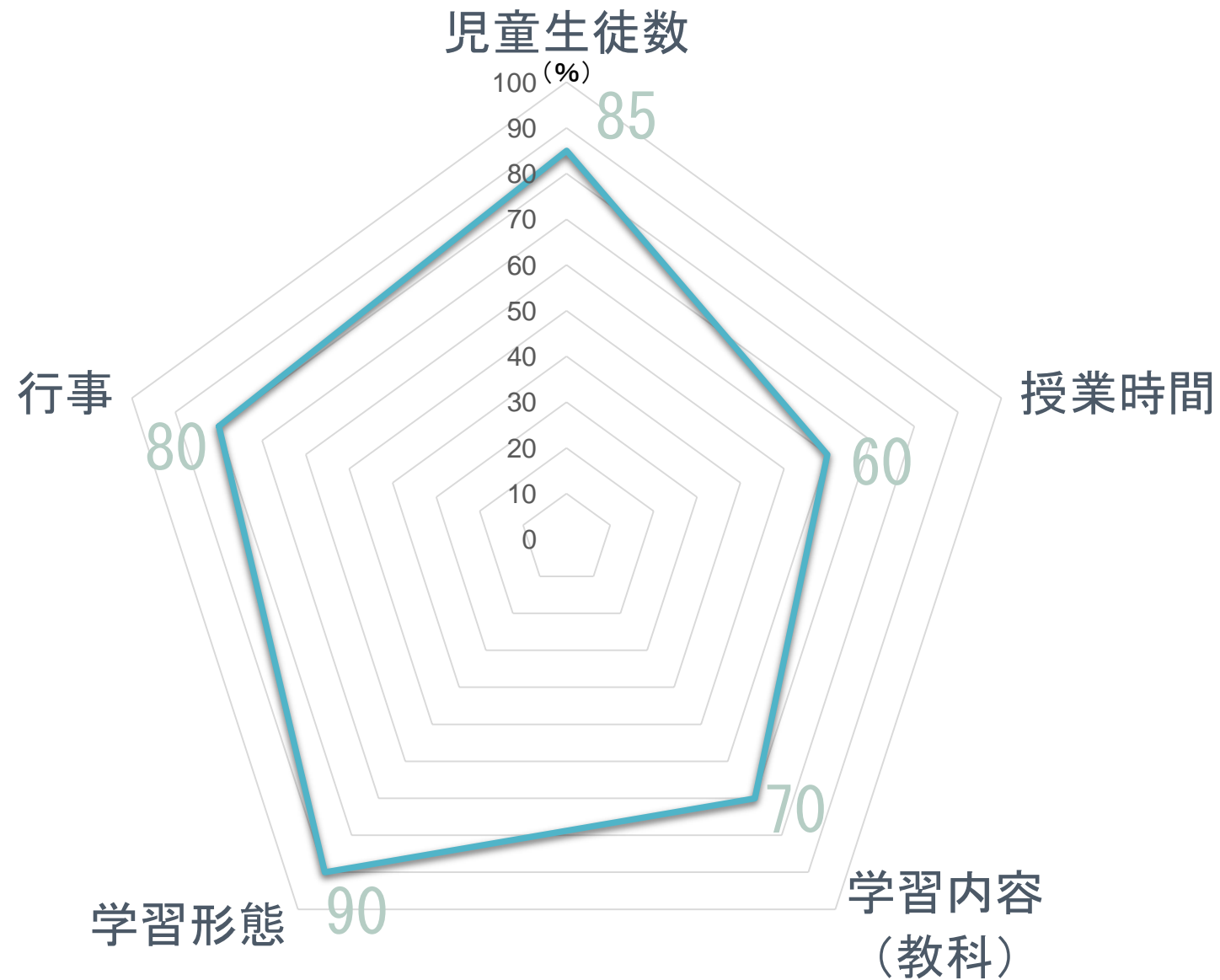
訪問教育

学習内容

学習形態

行事

【アンケート①】



【アンケート①】



【校内伝達会】

教材・教具シート

授業の様子動画公開

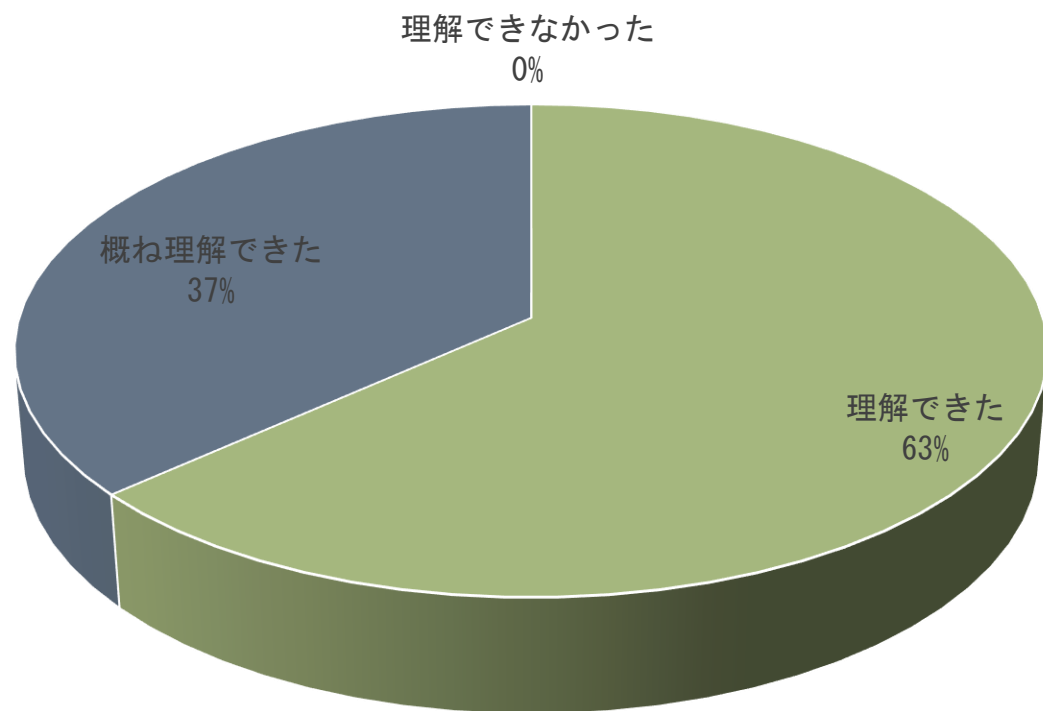


教材・教具

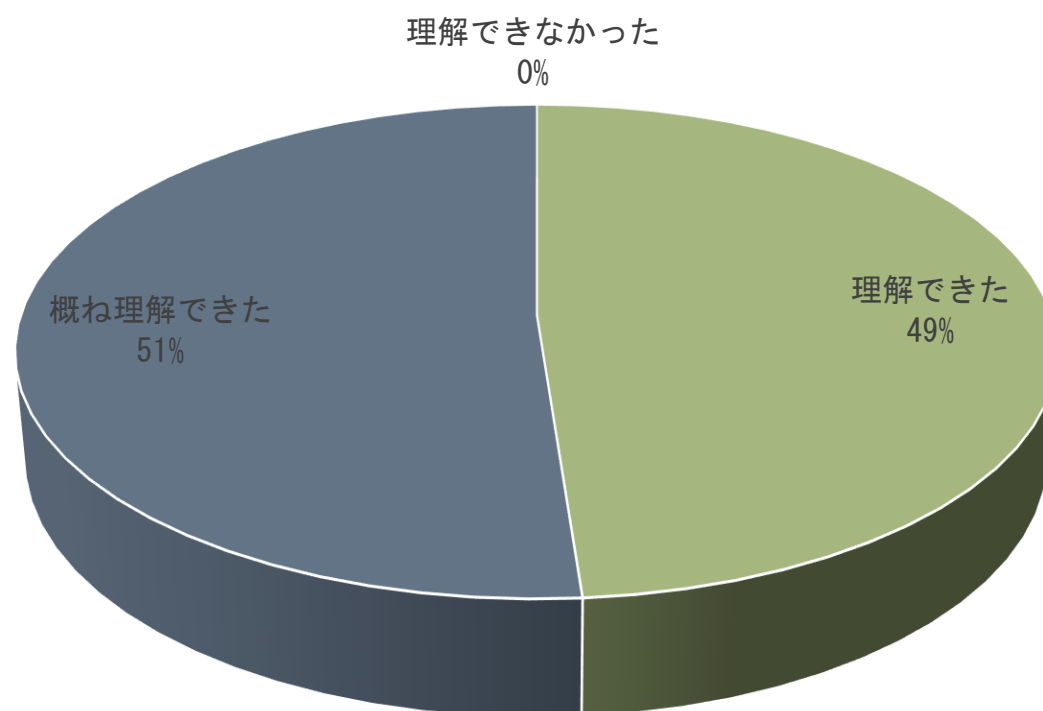
教科・領域名	自立活動
題材名	「手を動かそう」
学部・学年	訪問教育 茨城県病院（小学部 1学年）
教材の写真	
教材の工夫	<p>○ゴムの先に洗濯ばさみをつけ、ボールや風船など、実際に応じて興味・関心のあるものをつけることができるようにした。</p> <p>○つるす部分を3か所取り付け、活動に応じて1～3か所使用できるようにした。（いろいろな位置にあるものを見る）</p> <p>○ゴムでつるすことで、ボールや風船などに触れると動くようにした。（目と手の協応動作、上肢の動作、空間把握（自分とものとの空間（位置）関係）</p>
授業の様子	<p>ボールや風船などを先に取り付け、ものを見る、見比べて選択する、手を伸ばす、上肢を動かしてものを動かす（操作する）等の活動を行った。</p>
素材・材料	<p>・ボール紙（棒） ・ゴム ・洗濯ばさみ</p> <p>・実際に応じて興味、関心のあるもの（ボール、風船など）</p>

【アンケート②】

児童生徒への支援について理解できたか



訪問教育の授業について理解できたか



【アンケート②】

児童生徒の笑顔

学習の積み重ね

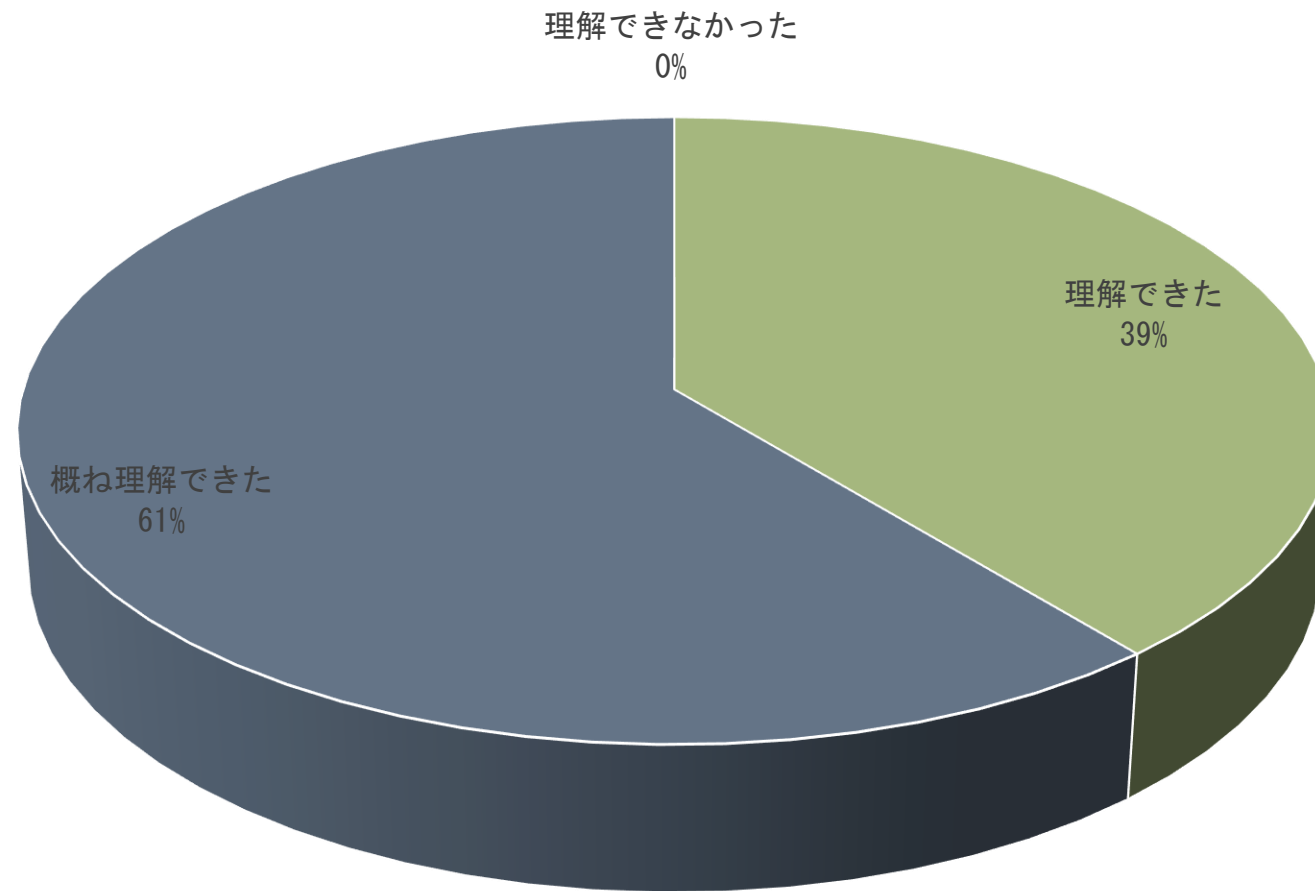
寄り添い

教材の工夫



【アンケート②】

訪問教育への理解を深めることができたか

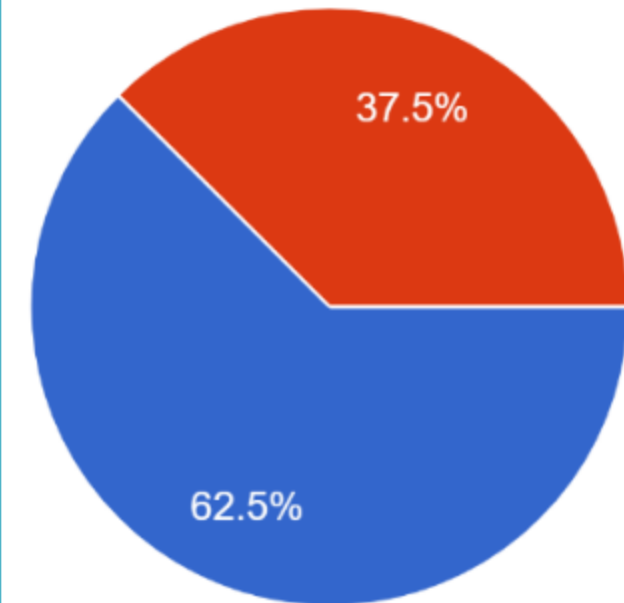


③他校訪問教育との情報交換会

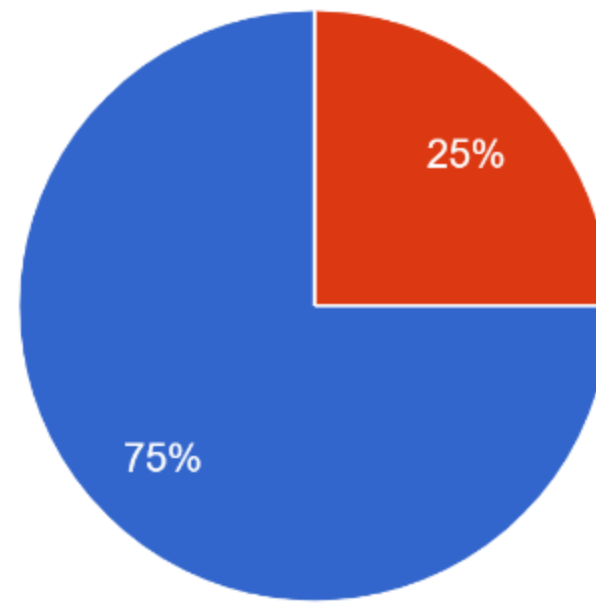
“三校交流についてのアンケート結果報告”

【アンケート結果】

1 本校の算数・数学科の取り組みに対して、算数・数学科の指導ととらえられる内容だと思いましたか



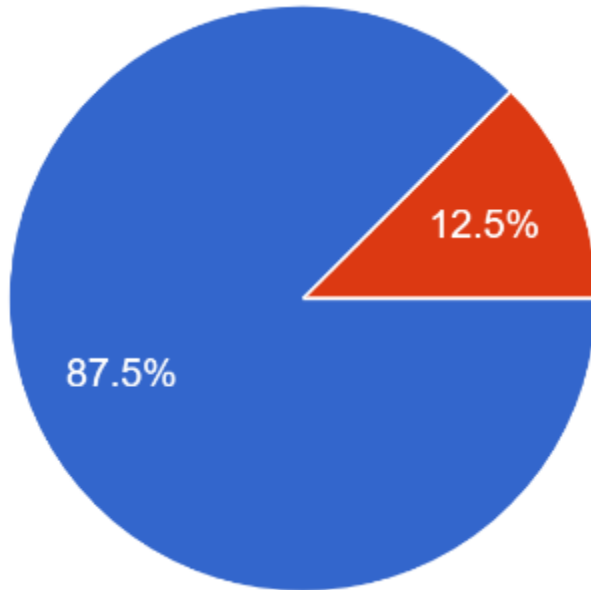
2 自校でも教科学習を取り入れたいと思いましたが



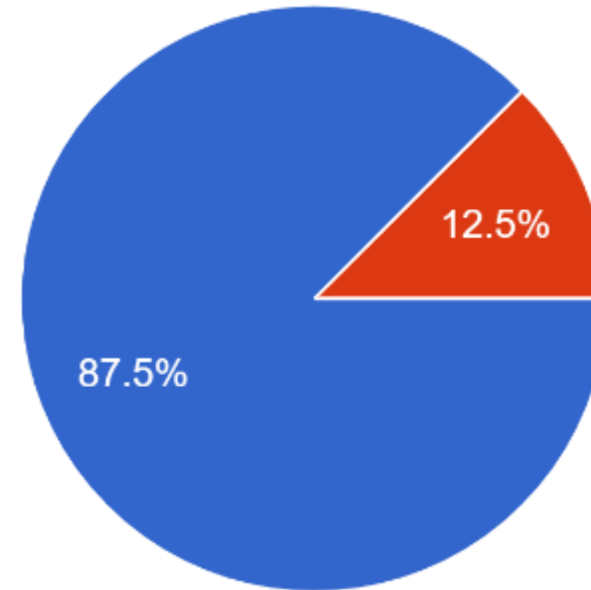
- そう思う
- ややそう思う
- あまりそう思わない
- そう思わない

【アンケート結果】

3 グループ協議において、支援の仕方や教材について、有意義な意見交換ができたと思われましたか



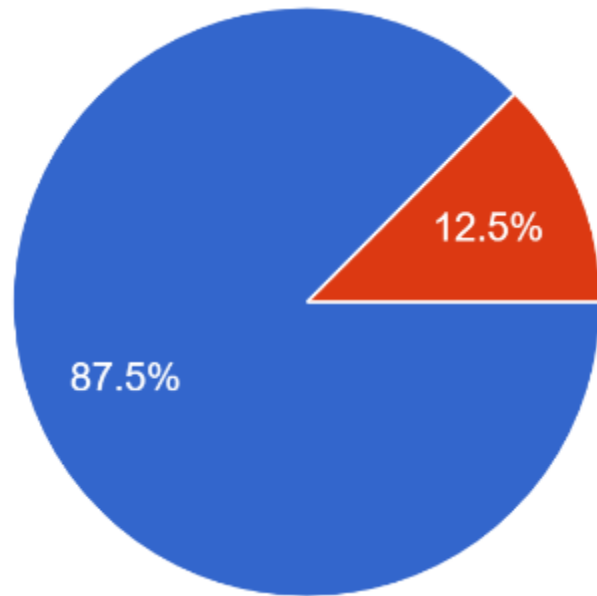
4 情報交換において、有意義な意見交換ができたと思われましたか



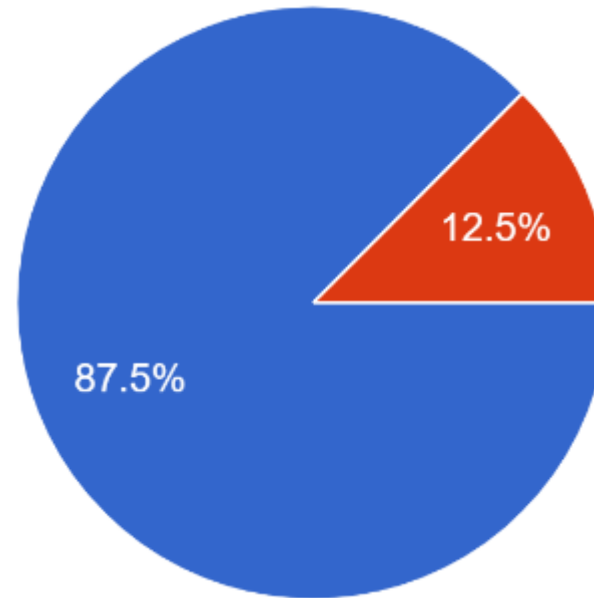
- そう思う
- ややそう思う
- あまりそう思わない
- そう思わない

【アンケート結果】

5 今回の三校情報交換会に参加してよかったと思いましたが



6 今後も三校情報交換会を開催してほしいと思いましたが



- そう思う
- ややそう思う
- あまりそう思わない
- そう思わない

【アンケート結果】

7 今回参加しての感想等何かありましたらお書きください (自由記述)

本日は貴重な機会に参加させていただきありがとうございました。本校でも、重度重複教育の課程で国語算数を始めるにあたり、算数の捉え方や実践など教えていただき、大変参考になりました。また、各校の訪問教育の事情、それぞれの取り組みや課題が共有でき、とても有意義な時間でした。これを機に、またぜひ情報交換ができると良いと思います。大変お世話になりました。

勝田特別支援学校の訪問教育の取り組みについて、詳しく説明していただき、分かりやすかったです。また、教材などポイントを絞った話し合いと何でも話せる雰囲気の情報交換会の時間に分かれていて、とても良かったです。今回のように訪問教育の担当者が集まって情報交換する機会はないので、年に1回でも集まるととてもいいと思いました。教材の紹介ポスターも分かりやすく参考になりました。準備など、お世話になりました。ありがとうございました。

いろいろお話ができよかったです。年計など各校の資料を持ち寄れるとさらによかったかなと思います。お世話になりありがとうございました。

訪問教育の担当者が顔を合わせて情報交換をすることはなかなかないので、とても貴重な機会でした。実施していただき、本当にありがとうございました。他校の状況を教えていただき、とても参考になりました。今後も定期的に情報交換をしたり研修をしたりする場があるとよいと思います。

勝田特支のみなさん ご準備ありがとうございました。長く続くように、実践発表的なことは無くして、各校とも情報交換だけでも十分有意義だと思います。大変お世話になりました。